

報道各位



2025年12月22日

EU/ドイツの動きや、それ以外の国々の動き、最新テクノロジー活用の動向などを紹介

『製造業 DX Next Stage

—各国/地域の動向や AI エージェントがもたらす新たな変革—

発行

インプレスグループで理工学分野の専門書出版事業を手掛ける株式会社近代科学社は、2025年12月22日に、近代科学社Digitalレーベル(※)より、単行本『製造業 DX Next Stage』(著者:福本 勲)の発売を開始いたしました。



※近代科学社 Digital とは:近代科学社が著者とプロジェクト方式で協業する、デジタルを駆使したオンデマンド型の出版レーベルです。詳細は[こちら](https://www.kindaikagaku.co.jp/kdd/scheme/)をご覧ください。
<https://www.kindaikagaku.co.jp/kdd/scheme/>



●書誌情報

【書名】製造業 DX Next Stage

—各国/地域の動向や AI エージェントがもたらす新たな変革—

【著者】福本 勲

【仕様】A5判・並製・印刷版モノクロ/電子版一部カラー・本文226頁

【印刷版基準価格】2,700円(税抜)

【電子版基準価格】2,700円(税抜)

【ISBN】(カバー付き単行本)978-4-7649-0771-3 C3060

【ISBN】(POD)978-4-7649-6127-2 C3060

【商品 URL】https://www.kindaikagaku.co.jp/book_list/detail/9784764961272/

●内容紹介

製造業の DX においてはグローバル企業間の連携やエコシステム構築が欠かせませんが、これらに影響をおよぼすグローバル事象も多く存在します。筆者は前著『製造業 DX:EU/ドイツに学ぶ最新デジタル戦略』(近代科学社 Digital(2023))において、製造業における日本の DX の現状を踏まえ、欧州連合(EU)/ドイツを中心とした世界の最新事例を紹介しました。本著ではそれ以降の EU/ドイツの動きや、それ以外の国々の動き、最新テクノロジー活用の動向などを紹介します。その中で、特に生成 AI や AI エージェントの登場は製造業を含む産業に大きな変革をもたらすと考えています。

●著者紹介

福本 勲

合同会社アルファコンパス 代表 CEO

中小企業診断士、PMP(Project Management Professional)

1990年3月、早稲田大学大学院修士課程(機械工学)修了。

同年に東芝に入社後、製造業向けSCM、ERP、CRMなどのソリューション事業立ち上げに携わり、その後、インダストリアルIoT、デジタル事業の企画・マーケティング・エバンジリスト活動などを担うとともに、オウンドメディア「DiGiTAL CONVENTiON」を立ち上げ、編集長を務め、2024年に退職。

2020年にアルファコンパスを設立し、2024年に法人化、企業のデジタル化やマーケティング、プロモーション支援などを行っている。

また、複数の企業や一般社団法人のアドバイザー、フェロー、NewsPicksプロピッカーなどを務めている。

主な著書に「デジタル・プラットフォーム解体新書」(共著:近代科学社)、「デジタルファースト・ソサエティ」(共著:日刊工業新聞社)、「製造業DX:EU/ドイツに学ぶ最新デジタル戦略」(近代科学社Digital)がある。

主なWebコラム連載に、ビジネス+IT/SeizoTrendの「第4次産業革命のビジネス実務論」がある。その他Webコラムなどの執筆や講演など多数。2024年6月より現職。

(所属およびプロフィールは2025年8月現在のものです)

●目次

第1章 BtoC領域の変革が産業界へもたらしたもの

1.1 スマートフォン登場から約20年

1.2 スマートフォンが変えてきた世界

1.3 産業構造の変革 3つの要因

第2章 日本のDXの取組の現在地

2.1 日本企業のグローバル進出時の課題

2.2 日本でDXに取組んでいる企業の割合

2.3 米国、ドイツと日本の間で成果創出に大きな差

2.4 経営者のデジタル分野についての見識の違い

2.5 日本では本来のDXの取組成果が出ていない

2.6 DXを推進する人材の過不足状況

2.7 DX推進のための企業文化・風土

第3章 各国、各地域の動向

3.1 欧州連合(EU)/ドイツ

3.2 フランス

3.3 英国

3.4 米国

3.5 中国

3.6 その他のASEAN諸国の状況

第4章 最新テクノロジー活用の動向

4.1 生成AIとAIエージェント

4.2 経営と現場をつなぐことの重要性

4.3 ソフトウェア・デファインド

4.4 デジタルツインを活用したスマートファクトリー実現

4.5 OT/ITの連携ショーケース

4.6 サイバーセキュリティ対策とデジタルトラスト

【特別対談】英国の金融機関や政策立案のアドバイザーを歴任した専門家 足立氏との対談—高度化するサイバー攻

撃とサイバーセキュリティ対策への取組のポイント

第5章 日本企業はいかに取組むべきか

- 5.1 日本で始まったエンジニアリングチェーンのアライアンスの取組
- 5.2 ものづくりの現場力が高すぎるがゆえに生じた日本製造業の課題
- 5.3 設計情報がうまく伝わらない日本製造業の課題
- 5.4 インダストリー4.0への誤解
- 5.5 求められるエンジニアリングとマネジメントの両方のケイパビリティを持った人材
- 5.6 注目を浴びるリスクリングと変化を求める「老害」

【近代科学社 Digital】 <https://www.kindaikagaku.co.jp/kdd/index.htm>

近代科学社 Digital は、株式会社近代科学社が推進する 21 世紀型の理工系出版レベルです。デジタルパワーを積極活用することで、オンデマンド型のスピーディで持続可能な出版モデルを提案します。

【株式会社 近代科学社】 <https://www.kindaikagaku.co.jp/>

株式会社近代科学社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚浩昭）は、1959 年創立。

数学・数理科学・情報科学・情報工学を基軸とする学術専門書や、理工学系の大学向け教科書等、理工学専門分野を広くカバーする出版事業を展開しています。自然科学の基礎的な知識に留まらず、その高度な活用が要求される現代のニーズに応えるべく、古典から最新の学際分野まで幅広く扱っています。また、主要学会・協会や著名研究機関と連携し、世界標準となる学問レベルを追求しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塙本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【お問い合わせ先】

株式会社近代科学社

TEL:03-6837-4828

電子メール: kdd-qa@kindaikagaku.co.jp